



# 2020年、あけましておめでとございます！

(特活) せんだい杜の子ども劇場  
代表理事 齋藤 純子

皆様お揃いで、佳き新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
昨年中は大変お世話になり有難うございました。

まず、皆様には昨年暮れに第14回通常総会を無事に開催でき、議案の全てが承認されました事をご報告致します。昨年まで積み上げてきた宝を基に、子どもたちが希望と自信をもって未来へ進む生き抜く力や感性を磨く体験活動を進めて参りますが、そのためには社会から賛同者を募り、思いの縁を広げ、地域や社会と共に子どもの育ちを応援する場づくりを広げていく必要があります。同時に、若手人材の育成、近未来に合致した組織の形そして後継者の育成を見据えて具体化しなければいけない段階と捉えております。会員の皆様にはこれまで以上にお力を貸していただきたく、よろしく願いいたします。

年末にはもう一つ吉報が入ってまいりました。2020年4月より榴岡&新田児童館の指定管理が仙台市議会で正式に承認されました。向こう5年間の指定管理者として全力を尽くして参りましょう。

「本物に触れる」という体験が、いかに子どもたちにとって多くの気づきと新たなきっかけに繋がっていくのか！。昨年12月に実施した榴岡児童館地域公開セミナーからその様子をご紹介します。数年来、榴岡小学校父母教師会と学校支援地域本部そして児童館は3者共催で地域公開セミナーを実施してきました。その中の一つである東北大学瀧靖之教授とピアニスト田原さえ氏によるセミナーは毎年恒例となってきましたが、今回は地域（乳幼児から大人まで）に加えて榴岡小学校4・5・6学年全児童が授業時間を利用し体育館で拝聴することとなりました。榴岡小学校のご理解とご協力がなければ実現できなかったことは言うまでもありません。

榴岡小猪股校長先生の思いをのせて「夢を育むために脳を鍛えよう！」と題してのセミナーは瀧教授

の講話から始まりました。スクリーンに映し出される脳画像やデータを示しながらの講話に皆が引き込まれていく様子が伝わり、講話後の子どもたちから出る質問が圧巻でした。どの子も自分の言葉で話している！初めから用意されたものではない本人の疑問や思うことから出てきた言葉であることは会場の参加者全ての人を感じたことでした。その質問に答える瀧教授は、実に分かり易く丁寧に、そして一人ひとりを肯定し次につながる意欲を引き出してくださいました。双方の熱の入ったやり取りに大人たちが「う～ん」と唸ったほどでした。

脳の活性化に音楽の効果は大きいとの講話の後、田原さえ氏による演奏は気持ちがリラックスした上で聴くことができ心地よく珠玉のものとなりました。ショパンやベートーベンが活躍していた当時のヨーロッパの状況や「なぜこの曲を作ったのか」等を話し、子どもたちに質問する田原氏の軽快な語り口は常日頃抱くピアニストのイメージとは異なり身近に感じ、子どもたちは音楽を自然に体感していました。

お二人とも高名な専門家です。子どもの時から本物に触れることの意義をセミナーに参加した大人の皆さんは強く感じられたことでしょう。90分という短い時間ではありましたが、子どもたちはお二人からたくさんのお話を学んだはず。この瞬間、子どもと専門家による双方向の体験は、これからの意欲に繋がるものと確信しました。

私たちの役割は出会いの創出を絶えることなく行っていくこと！です。出会いがあり、そこから次の創造が生まれていく。次の時代へ繋ぐため広く社会と協働し、「せん杜」はもうひと頑張りしなければいけませんね。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。

